

## 《学力状況調査の結果》

4月23日を基準日として実施しました全国学力・学習状況調査の調査結果が7月に公表されました。今回の結果を受けまして、今後の教育の改善と向上に向けて、本校としての課題と改善策等を以下のよう

**国語**…国語全体の結果は、全国平均をやや上回っていました。

言葉の特徴や使い方に関する問題は正答率が高かったです。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができていました。また、話や文章の種類とその特徴についての理解を問う問題についても正答率が高かったです。今後も基礎的・基本的な学力の定着を大切に学習を進めていきたいと思います。

一方で、「目的に応じて、必要な情報を見つけることができる読む力」と「引用して、自分の考えが伝わるように書き出し方を工夫する書く力」に課題が見られました。目的に応じて必要な情報を見つけたり、根拠を明確にして自分の考えを表現したりする思考力、判断力、表現力等を育成する、バランスの取れた学習活動を進めていくことに重点を置いて取り組んでまいります。

**算数**…算数全体の結果は、全国平均とほぼ同程度でした。

全ての設問において、無回答率が全国平均を下回っており、粘り強く最後まで解答を書こうと努力することができていました。「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域では、正答率が高かったです。出題形式（選択式・短答式・記述式）を問わずバランスよく解答できていましたが、「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目し直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する力」や「基準量・比較量・割合の関係を読み取る力」には課題が見られました。

また、「数と計算」「図形」の領域に課題が見られました。特に図形については、全ての設問において全国平均を下回っており、基礎的・基本的な学力を更に充実させるとともに、示された問題内容の説明を解釈する力など場面に応じた活用力を身につけていくことが重要です。個別最適な学びと協働的な学びの調和を図りながら、場面に応じて適切に数学的処理ができる力の向上を目指して取り組んでまいります。

## **質問調査**

普段の生活習慣を問う質問、自己有用感を問う質問、先生や友だちとの関係性を問う質問、規範意識を問う質問等において、本校は全国平均よりも肯定的な回答が得られました。きまりを守ることやいじめを許さないことについて、正しい認識をもっていることが確認できたことは、人を大切にする人権意識の基礎が培われている証だと考えております。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「人の役に立つ人間になりたい」という質問事項においても、本校は全国平均よりも肯定的な回答率が高かったです。地域共生社会の実現に向け、意欲的に捉えている子どもたちの思いをより一層育んでいきたいと考えております。

一方で、学校の授業時間以外における学習時間や読書をする時間は全国平均より短かったです。さらに、「話し合う活動を通じて自分の考えを深め、新たな考えに気付く力」や「学習のよく分からな

かった点を見直し次の学習につなげる力」「どのように考えたのか説明する力」について課題が見られました。協同的探究学習を進める中で友だちと意見交流する機会を増やし、互いの意見の共通点や相違点に焦点をあてたり、必要な情報との関連性を深く考えたりする機会を多くもっていきたいと考えます。

夢や希望をもち、人の役に立つ人間になりたいと意欲的に考えている子どもたちの思いを大切にしながら、より一層学校教育目標の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。